

1. 開催概要

第1回ワークショップでは、清須市の現状と将来について説明を行った上で、公共ファシリティマネジメントゲームにより、公共施設に対する理解を深めていただいた。その上で、ワークショップ形式で、清須市の公共施設の「良いところ」、「悪いところ」、「これからの公共施設に求められること」について意見交換を行った。

開催概要	当日のプログラム
【テーマ】 清須市の公共施設について知ろう！	10:00～ はじめに
【日時】 平成30年10月27日(土) 10時から正午	10:08～ アイスブレイク
【場所】 清須市役所	10:25～ 公共ファシリティ マネジメントゲーム
【参加人数】 13人	11:00～ ワークショップ
	11:45～ まとめ
	12:00 閉会

3. ワークショップ

開催後のアンケートでは、「清須市の公共施設にどのようなものがあるかもっと知りたい」、「公共施設に対する他の自治体の改善状況や取組みも知りたい」というような前向きな意見をいただくなど、ワークショップを通じて公共施設に対してより興味をもってもらうことができたと考えられる。

以下に、開催当日の意見を示す。

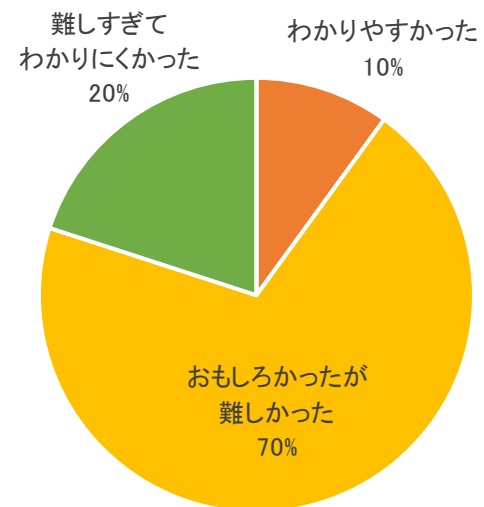
アンケートの回答
<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の将来の方向性を把握できたので良かった。 「市の公共施設」を普段何気なく使用しているが、改めて見つめられることができた。 さまざまな年代の色々な方の意見が聞けて勉強になった。 清須市の良さ・悪さについて考えて、もっと施設を利用していきたいと思った。

2. 公共ファシリティマネジメントゲーム

公共ファシリティマネジメントゲームの参加者の意見として、「おもしろかったが難しかった」との回答が7割となった。参加者からは、今回のゲームが、「予算制約」の中で「少子高齢化」に対応した施設のあり方や配置を考える機会であったことから、「統廃合の検討において、どういったことを考える必要があるかイメージしやすかった」との意見もいただいた。

アンケートの回答（ゲームの感想）

- 今後の論点の方向性が理解できた。
- 目先のことだけ考えると、後で困ったので、将来のことも考えないといけないと感じた。
- 現実を考えずに進めればよかったが、自分の地区、清須全体を考えてしまったので取り組みにくかった。
- 「予算」と「人口」も考えながら、将来の清須市を見つめながら取り組めたため楽しかった。
- 統廃合の難しさや、何を考えて行うのがイメージしやすかった。
- ゲームは楽しかったが、説明が分かりにくく、理解するまでに時間がかかるのに、進行のスピードが早かった。



(1) 良いところ、悪いところの主な意見

良いところ	悪いところ
<ul style="list-style-type: none"> 市役所がきれいで使いやすい 各地区に公民館が配置され利用しやすい 市立図書館がきれいで利用しやすい ARCO 清洲のスポーツ施設が充実している どの施設も駐車場がある 	<ul style="list-style-type: none"> 市立図書館が遠い グラウンド等、スポーツ施設の内容に地域差がある ARCO 清洲やカルチャ新川の利用料金が高い 子どもに関する施設が充実していない 全体的に古く、使い勝手が悪い 駐車場が少ない 多くの施設があると思うが、何があるかわからない



(2) これからの公共施設に求められること

<主な意見>

- 施設に対して安心できる災害対策を実施する
- 施設のバリアフリー化、使っていない施設や古い施設の統廃合を検討する
- 十分な駐車場の確保とバスの本数の増加を実施する
- 乳児、高齢者が使用する場所は1階に配置する
- 幅広い方々と関わられるような施設を設置する
- 点在する施設を統合して、ひとつの大きな施設を設置する

<その他の意見>

- 総合運動場やスポーツのしやすい大きな公園を設置する
- 大規模な屋内アスレチック施設を設置する
- 図書館を中心部に配置し、施設内には美術館のような飲食販売（パン等）所を設ける



第2回ワークショップについて

1. 開催概要

第2回ワークショップでは、施設の複合化について考えてもらうために、ケーススタディとして、桃栄小学校を見学し、学校の現状を把握していただいた。

その上で、ワークショップ形式で、「学校にどんな機能が複合化できるか、どんな機能を複合化したいか」について意見交換を行った。

開催概要	当日のプログラム
【テーマ】 公共施設の有効活用について考えよう！①	13:30～ はじめに (桃栄小学校へ移動)
【日時】 平成30年11月17日(土) 13時30分～15時30分	13:55～ 桃栄小学校の見学 (市役所へ移動)
【場所】 清須市役所	14:50～ ワークショップ
【参加人数】 11人	15:20～ 発表・まとめ
	15:30 閉会

2. 桃栄小学校の見学

参加者からは、「桃栄小学校の内部を実際に見て、どのような状況であるかを把握することで、複合化のイメージがしやすくなった」との意見をいただいた。また、ワークショップを通じての感想として、「将来の問題点に対して、対策を考える大切さを学んだ」との意見をいただいた。

アンケートの回答

<桃栄小学校の見学について>

- ・小学校の中を数十年ぶりに見た。具体的に現場を見学すると、考えが色々浮かんできた。
- ・具体的に小学校の内部を見ることができてよかった。
- ・他の小学校を見ることができて新鮮だった。実際に見に行くとイメージが湧くので良いと思う。
- ・現物、現地を見ての議論が有意義であった。

<ワークショップを通じて>

- ・このワークショップは、発生する将来の問題点を事前に検討し、対策を立案する重要な作業であることを実感した。
- ・自分の将来についても、利用できる案(考え方)を議論できて良かった。



3. ワークショップ

ワークショップでは、桃栄小学校に「どのような機能が複合化できるか」、「どんな機能を複合化すれば、学校の魅力や価値が上がるか、自分が利用したい場所となるか」について意見交換をしていただいた。以下に、開催当日の意見を示す。

(1) 学校の部屋を有効活用する(複合化)案

- ・コンピュータ室は、高齢者を対象とした、パソコン教室の場として活用
- ・理科室は、既存のプラネタリウムを使用して、天文教室を開催
- ・家庭科室は、年配者の料理教室の場として活用
- ・音楽室は、カラオケ、コーラス、楽器の練習場所に活用
- ・図工室は、DIYのイベントで活用
- ・2階多目的スペースは、健康体操の教室の場として活用
- ・図書館は、拡大し、一般の人でも使用できるようにする
- ・図工室は、具体的な用途を定めず、多目的ホールとして活用
- ・家庭科室の機能は、多目的スペースに移動
- ・図書室は、多目的スペースに移動し、図工室を図書室の場所に移動
- ・理科・図工・音楽・家庭科室は、部屋を併用して使用
- ・校内の多目的スペースは、児童館として活用
- ・空きスペースは、学童だけでなく、保育園も複合化することで、保護者の人にとっても、より便利なものにする
- ・1階と2階に空き教室が生じた場合、高齢福祉機能を複合化し、地域の人々が滞在することで、児童との交流場所となり、児童を見守る事ができる
- ・別棟3階は、すべて市民対象の生涯学習に活用

(2) 新機能を設置する案

- ・エレベーター、エアコンを設置
- ・障害者用トイレを各階に設置
- ・再生可能エネルギー(太陽光・オール電化)の活用

(3) 校舎外の場所を有効活用する案

- ・学校のプールは、市民でも利用できるように開放し、また、更衣室を増やす
- ・花壇がある場所は、園芸教室で活用したり、また、一部を農地化することで、子供と高齢者が作物を栽培し、育った作物を家庭科室で料理するなど、食育の場として活用

(4) その他意見

- ・視聴覚室は、設備を更新
- ・音楽室は、段差をなくす
- ・学校は、設計段階で、廃校後に高齢福祉施設として利用するなどのことを考慮する
- ・空き教室を多目的スペース、多目的スペースを特別教室にする

